

三股町教育大綱

2023年3月

三股町



1 大綱の位置づけ

三股町教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、本町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策を推進するための指針となるものです。

本町においては、国の第4次教育振興基本計画を参酌した上で、[第6次三股町総合計画](#)を踏まえ、町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」での協議調整により策定するものとします。

2 大綱の期間

三股町教育大綱の期間は、2023年度から2026年度までの4年間とします。なお、教育を取り巻く状況の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととします。

3 基本理念

未来を創る 心豊かで活気あふれる 文教三股の人づくり

まちづくりは人づくりからという基本的な考え方に立ち、本町の教育は、未来を担い、社会の発展に貢献できる人づくりを目指します。

本町の子どもたちは、郷中教育^{※1}の気概・精神を受け継ぎ、文教三股^{※2}の環境のもと健やかに成長しています。この三股の子どもたち（みまたん子）が、

- ・ それぞれのよさを発揮して、「夢」の実現に向かって挑戦し努力すること
- ・ 将来に自立した人生を心豊かに送り、社会に貢献することができる人となること

そのような人づくりの基礎を築くことが、教育の使命であると本町は捉えています。

本町は、みまたん子の幸せを第一に考え、健やかに育ち、学ぶことができる教育を力強く進めるとともに「三股魂^{※3}」をもった活気あふれる人財を、家庭、地域、学校、行政などの連携・協働のもとチーム三股で支援します。

こうした考え方に立ち、基本理念を

「未来を創る 心豊かで活気あふれる 文教三股の人づくり」と定めます。

※1 郷中教育：郷中という今日の自治会のような組織の中で行われていた伝統的な教育方法で、年少者は年長者から武芸、学問のほか、社会生活を送るために大切なことを学んでいました。

※2 文教三股：三股は昔から教育熱心で幾多の人財を生んだ誇り高い土地柄で、明治には三島通庸によって開拓の基本として教育振興がなされました。三股には「米の倉より頭の倉」という言葉があり、経済的な困難にもめげることなく教育に力を注ぐ教育尊重の気風があります。そのようなことから、三股のことを「文教三股」というようになり、今日でも教育の町として知られています。

※3 三股魂：「何事にも負けない強い心」を表しています。ふるさと三股を誇りに思い、どんな逆境であっても、あきらめることなく果敢に挑戦し続け、自分自身の力で未来を切り拓いてほしいという願いが込められています。

4 基本目標

基本理念を実現するために、次の基本目標を掲げ実現に向かって邁進します。

未来をたくましく生き抜く人財づくり



チーム三股でみまたん子を育みます

- 学校、家庭、地域がチーム三股（横の連携）となって協力・連携することで、みまたん子の成長を支えます。
- コミュニティ・スクール^{※4}と地域学校協働活動の一体的推進に努めます。
- みまたん子の地域活動への参加を促すことで、まちの活性化につなげます。
- 認定こども園・保育園・小中学校が連携してチーム三股（縦の接続）となって、中学校を卒業するまで15年間の切れ目のない教育を行います。
- 「三股町児童生徒憲章」^{※5}に基づき、全小中学校での小中一貫教育を行うことで、三股町の未来を担うみまたん子を育みます。



未来をたくましく生き抜く力を育みます

- 生き抜く力の基礎となる、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育みます。
- 1人1台端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、情報活用能力を育成します。
- 問題を発見して自ら解決する能力の修得を支援することにより、自ら学ぶ力を伸ばします。
- 急激な時代の変化の中、未来を担うみまたん子が、たくましく社会を生き抜いていくために、自ら未来を切り拓く生きる力を育みます。

心豊かで活気あふれるコミュニティづくり



町民参加型のコミュニティづくりを進めます

- だれもがいつでもどこでも学べる生涯学習環境を整備します。
- 公民館や図書館などの社会教育施設の連携を図ります。
- 主体的・自主的な学習活動を通して自己実現を達成できるよう、人間尊重の精神を基本とした生涯学習を推進します。
- 外国人住民への日本語教室やイベント等を開催し、多文化共生の地域づくりを進めます。



みまたん子の育ちを支えるコミュニティづくりを進めます

- 学校、家庭、地域のより一層の連携を深めることにより、体験活動の充実や放課後の学習支援の充実を図ります。
- 教育コミュニティづくりをより一層進め、みまたん子の育ちを支えます。
- 家庭学習や家庭における教育支援の充実を図ります。

※4 コミュニティー・スクール：コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めていく仕組みです。

※5 三股町児童生徒憲章：平成22年(2010年)「文教みまたん子どもサミット」を記念に制定したものです。当時としては画期的な取組である三股中学校を中心として各小学校をオンラインで結び、テレビ会議を実施し、本憲章を制定しました。子どもたちが自ら考え、制定したものです。

文化・スポーツに親しむまちづくり



アスリートタウンみまた（生涯スポーツのまち三股）を推進します

- 生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境を整備します。
- 各種スポーツ大会・行事の開催・支援や、普及活動などを通して、競技人口の拡大や競技力の向上を図ります。
- 第81回国民スポーツ大会^{※6}・第26回全国障害者スポーツ大会の開催機運の醸成を図ります。また、国民スポーツ大会の銃剣道会場となる町武道体育館等を整備します。
- 心身の健康の保持増進に努めるなど、だれもが健康で生きがいをもって生活できる地域づくりを支えます。



ふるさと三股への愛着と誇りを育みます

- 継承されてきた歴史文化を次世代につなぐため、文化財等を調査・保存・整備します。
- 多くの町民が親しめる芸術・文化活動を充実させます。
- 先人が築いた三股の歴史と伝統の上に立ち、誇りをもってふるさとに貢献できる人財を育みます。
- 心豊かな文化的生活の実現により、三股町に住みたいと感じられるまちづくりの一助とします。

※6 国民スポーツ大会：「国民体育大会」は2024年開催の第78回大会から、大会名称が「国民スポーツ大会」に変わります（略称：「国スポ（こくすぽ）」）。

